

## 【事業所における自己評価結果（公表）】

公表：令和6年 4月

事業所名 児童発達支援事業所ころころ伊場

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0		
	② 職員の配置数は適切である	6	0	・安全に支援ができる体制を整えている。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0	・個人の特性を踏まえ、環境構成に配慮している。	
	④ 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている	6	0	・室内の清掃や玩具の消毒、設備の安全点検を定期的に行っている。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	・療育のサイクルとして取り入れている。	
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	・ニーズに応じた個別相談や園訪問、参観の実施等を行っている。	・頂いたご意見を次年度の業務に反映していきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		・外部の第三者評価を受けていないが、保護者会や療育参加などを通し、保護者のニーズを密に聞き取っている。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保している	6	0	・自主研修として受講していることが多く、受けている人と受けていない人の差があるように感じる。	・研修の案内を全職員に行い、研修の参加を通し共通認識を持った支援を心がけていきます。
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0		
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0		
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援がガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている	6	0	・個々の特性を把握し、必要な項目や支援内容を設定してきた。	

適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	・職員一同で共有し、支援を行ってきた。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	・月案や週案として活動プログラムの立案を行っている。	・今後も職員間で活動プログラムの立案をチームで行っていきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫している	6	0		・利用児の姿や発達に合わせたプログラムを計画していきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成している	6	0		
	⑰	支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・事前の相談や計画、準備を連携のもと綿密に行ってきた。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	6	0	・自分のクラスの子以外の様子も共有できるようにしている。	・クラス担任だけでなく、全職員で活動や子どもの様子について共有・振り返りをしていきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・支援や活動、環境構成等の振り返り、改善を日々行ってきた。	
関係機関や保護者との連携	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	0	・正規職員業務のため、正規職員3名のみ回答	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	・正規職員業務のため、正規職員3名のみ回答	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	0	・正規職員業務のため、正規職員3名のみ回答	
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・電話相談や園訪問を通し連携を図ってきました。	
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	・サポートかけはしシートを使用し、情報共有を行っている。	
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		・研修参加回数を増やしていき、専門機関からの助言を受けることや連携に努めていきます。
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会がある	4	2		・併設保育園との交流を計画していきます。
	㉗	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	3	・正規職員業務のため、正規職員3名のみ回答	・参加回数を増やし、地域の情勢の把握や連携に努めていきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0		
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	0		

保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、利用者負担に等について丁寧な説明を行っている	3	0	・正規職員業務のため、正規職員3名のみ回答。 ・契約時に行っている。	
	③⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	0	・正規職員業務のため、正規職員3名のみ回答。 ・説明をし、同意を得ている。	
	③⑫	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・定期的に個別相談を設け実施している。	
	③⑬	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	・親子遠足など親子行事は開催している。	・保護者会を開催するようにしていき、保護者同士の繋がりや連携を支援してきます。
	③⑭	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		
	③⑮	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0		
	③⑯	個人情報の取り扱いに十分注意している	6	0		
	③⑰	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	③⑱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3		・地域住民と触れ合う機会を模索していきます。
非常時等の対応	③⑲	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	・毎月実施しています。	・訓練の実施の様子やマニュアルを周知、発信していきます。
	④⑰	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0		
	④⑱	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	6	0		
	④⑲	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・事案が発生した都度、記録作成と話し合いを行っています。	
	④⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応している	6	0	・職員間で話し合う機会を設けてきました。	
	④㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで児童発達支援計画に記載している	6	0		・より細やかに説明を行っていきます。